

平成27年度「沖縄のこころ 平和発信強化事業」

1. **事業名**：「沖縄のこころ 平和発信強化事業」
(平成27年7月29日～平成28年2月29日)
2. **目的**：沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心（沖縄のこころ=人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め文化を愛する心）を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するという沖縄県平和祈念資料館設立理念実現のため、沖縄戦の歴史的教訓及び沖縄のこころの発信強化を図る。具体的には、当館展示内容の**※多言語化**、音声ガイダンス機器のリニューアル、デジタルサイネージシステムの導入を行う。

※多言語：展示内容については5ヵ国語（日、英、中、韓、西）、音声ガイダンス機器については10ヵ国語（日、英、中、韓、西、仏、伊、独、亜、マレー）

3. **委託業務の内容**

(1) 「タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化」

- ①沖縄県平和祈念資料館 常設展示室内合計35ヵ所、各展示室の説明・画像が入力されたタブレット端末を設置する。また、室外にダイジェスト版を3台設置。

②設置箇所

- 第1展示室（5ヵ所）：
「沖縄戦への道」
- 第2展示室（3ヵ所）：
「鉄の暴風」
- 第3展示室（2ヵ所）：
「地獄の戦場」
- 第4展示室（17ヵ所）：
「住民の見た沖縄戦」（証言）
- 第5展示室（8ヵ所）：
「太平洋の要石」



タブレット端末の設置イメージ

(2) 「音声ガイダンス機器のリニューアル」

- ①常設展示室用音声ガイダンス機器50台（39ヵ所分）を新たに導入
- ②音声入力用テキストデータをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語に翻訳する（英語、中国語、韓国語、スペイン語は翻訳済み）
- ③機器の盗難防止ゲートの設置



音声ガイダンス機器



盗難防止ゲート

(3) 「デジタルサイネージシステムの導入」

- ①メインエントランス（既存の掲示板は撤去）、正面入口、子ども・プロセス展示室入口の合計3台を設置。
- ②沖縄県平和祈念資料館施設概要、企画展示、その他関連イベント案内の表示を5ヵ国語（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語）で行う。
- ③インターネット回線を利用し、年月日・曜日・天気・災害情報も表示。
- ④操作はタッチパネル式（メインエントランスの機器を除く）とし、随時更新。
- ⑤子ども・プロセス展示室入口右手に、児童・生徒の興味関心を引くコンテンツとして、「バーチャル・サプライズシステム」機器を設置。



使用例：サイネージに付属のモーションキャプチャーで人物を認識し、世界の民族衣装を画面上で試着。



世界の国旗と地域をマッチング